

いとまん 民泊

ふれあい体験プログラム

島のこどもになる日

一般財団法人 沖縄県青年会館
沖縄体験交流事業部



一生一度の思い出に残る民泊を 糸満市周辺で体験してみませんか？

糸満市は、本島最南端に位置し人口59,000人余、気候は、亜熱帯海洋性気候、平均気温は、22℃～23℃。

本島最南端の岬、喜屋武岬より西側に東シナ海、東側に太平洋を望み、漁業、農業が盛んでサトウキビ、小菊の栽培、ゴーヤー、県内一の生産量を誇るにんじんなどが栽培されており自然豊かな街です。

糸満市は、沖縄戦終焉の地と位置づけられ平和学習で訪れる旅行者が多く見られますが、平和学習だけではなく、旧暦行事、琉球ガラス、琉球漆器、グスク(城跡)など、歴史と伝統文化の息づく地域でもあります。

修学旅行で 糸満市周辺を訪れる皆様へ

沖縄独特の豊かな自然と文化と歴史に触れると同時に、いくつかの体験を通して人と人との交流から、新たな自分を発見し、よりよい人間関係の構築や将来の夢や希望を身につけるため迎恩の心で、来訪者に接する県民性を肌で感じてもらう事をねらいとします。

わずか、1泊、2泊という短い体験の中で第二の故郷をたくさん的小朋友が見つけています。また、民泊について、「こども達が変わった！」そんな声がたくさん届いています。

ポイント

- ありのままの自然や普段の暮らしをそのまま感じてもらう
※一緒に過ごし、受入民家の普段の生活に触れさせることがポイント
- こども達は「客」ではなく、自分の子や孫として預かる
※お客様扱いをしない。基本は、修学旅行の体験学習としてきますが、体験だけが民泊ではありません。人と人とのつながりを大切にする事がポイント
- 夕食後に「ゆんたく」を。
※近年は、核家族化が進み家族との会話も減りつつあります。出来るだけ一家団らんのを設けてこども達だけにしない事がポイント(話題・沖縄の平和、歴史、文化、趣味等……)





テーマ

「イチャリバチョーデー」 「命どう宝」



ふれあい体験プログラムプラン

ふれあい体験プログラム（民泊）のおおまかな流れや内容、また基本的なプランをご紹介します。

みんな少し不安そうです！
お父さん、お母さんって
どんな人かな？

1日目 例：基本モデルコース（午後）



PM 14:00

午後、糸満市内の会場で対面式



PM 14:30

対面式終了後、各民家さんへ

さあ！いよいよ民泊の始まりです！

各民家で様々な体験を行います！

ビーチクラフト作り体験



農業体験



沖縄のお菓子作り体験



三線体験



夕食作り 各家庭によって料理は違います。

まあさんど〜！
(おいしいよ！)



沖縄料理一例



2日目



AM 9:00

いよいよお別れです

先生も生徒も民家も、
最後はみんなでカチャーシーでお別れです♪



手の動き
合ってるかな…?



AM 9:30

お見送り



最後の別れの言葉は…
行ってきま〜す!!



● 1泊2日〈2食〉

基本モデルコース(午後)

| | | |
|-----|-------|-----------------------|
| 1日目 | 14:00 | 対面式(糸満市内) |
| | 14:30 | 各民家へ移動 |
| | 15:00 | ふれあい体験(生活体験) |
| | 18:00 | 夕食/入浴・ゆんたく |
| 2日目 | 22:00 | 就寝 |
| | 7:00 | 起床/朝食 ふれあい体験(生活体験) |
| | 8:30 | 会場集合 |
| | 9:00 | 修了式 |
| | 9:30 | お見送り |

● 2泊3日〈5食〉

基本モデルコース

| | | |
|-----|-------|--|
| 1日目 | 17:00 | 対面式(糸満市内) |
| | 17:30 | 各民家へ移動 |
| | 18:00 | 夕食/入浴・ゆんたく |
| | 22:00 | 就寝 |
| 2日目 | 終日 | 終日ふれあい体験 農業、平和学習、お菓子作り、 自然観察、市内観光等、たっぷり と民家さんとの交流をしてくだ さいます。 朝食/昼食/夕食 |
| 3日目 | 7:00 | 起床/朝食 ふれあい体験(生活体験) |
| | 8:30 | 会場集合 |
| | 9:00 | 修了式 |
| | 9:30 | お見送り |

体験場所

沖縄本島南部エリア(糸満市周辺)
糸満市・八重瀬町・南風原町・豊見城
市及び、近隣の市町村へ分散です。

申込人員

30名様以上にてお申し込み下さい。
※各民家3名~6名の分散です。

受入期間

旧暦・地域行事・その他により受入不
可日受け入れ人員制限日等ございま
す。詳しい詳細は、お問い合わせくだ
さい。

体験メニュー紹介

体験できるメニューの一部をご紹介します。農業体験から沖縄ならではの平和学習など様々な体験があります。



農業体験

収穫したものはファーマーズマーケットに出荷しま〜す！

農家って…大変！



平和学習

沖縄戦の犠牲者の御霊に合掌…

ウートートー…



三線体験

沖縄伝統楽器の三線を体験できます！

こ、こうかな？



沖縄のお菓子作り体験

他にもちんすこう、ポーポー等あります！

お菓子作り大成功！



ビーチクラフト作り体験

まずは、ビーチで貝殻拾い！



いろんな種類が集まるね！

自然体験学習

イノー（潮だまり）で珊瑚や熱帯魚の観察等、学習しながら自然を満喫できます！

カニ発見！



その他、体験メニュー

- 沖縄空手体験
- 琉球舞踊体験
- 琉装着付け体験
- 釣り体験
- 草木染め体験
- 地域歴史学習 他

受入民家さん紹介

子ども達を受け入れている民家さんをご紹介します。
地域や世代によって各家庭それぞれの特色があります。どの家に行っても貴重な体験ができます。



●糸満市



●糸満市



●糸満市



●八重瀬町



●八重瀬町

講習会及び勉強会

※当民泊では、救急救命・消火訓練・食品衛生講習会は必須となっております。

●心肺蘇生法

病気やケガにより、突然に心肺停止、もしくはこれに近い状態になったときに行う心肺蘇生法を学びます。



必死で
頑張っています!



●AED

AED(自動体外式除細動器)に対する基本的な知識や使用方法を学び、AEDを使用した蘇生法を学びます。

いざという時に備えて
実戦練習!





●アレルギー講習会

食物アレルギーの原因・症状の基礎知識に加え、台所の環境、食品表示項目の見方等についてを学びます。



皆さん真剣です!



●各種勉強会

生徒達を受け入れるにあたっての心構えや緊急時の連絡体制の確認、食品衛生面に関する基本的な知識などの勉強会を行います。



「事件・事故・急病（体調不良、怪我）」

緊急連絡体制図

万が一、事件・事故・急病などが発生した際の緊急連絡体制図となります。念のために内容を確認し、不測の事態に備えて万全の体制をとりましょう。

緊急事態発生

受入民家：

住 所：

電話番号：

受入民家

受入民家は、緊急連絡体制をとる（事故者の状態確認・搬送準備）

緊急対策本部

(沖縄体験交流事業部)

担当者氏名

080-0000-0000

引率者(学校本部)
旅行会社(添乗員)

学校関係者・保護者へ

かすり傷程度の場合、民家が
その場で手当てをする。

重症・重体の場合

119番

消防署

事件・事故の場合

110番

警察署

水難事故の場合

118番

海上保安庁

- 南部病院 糸満市真栄里 870 098-994-0501
- 南部徳洲会病院 八重瀬町外間 17 098-998-3221
- 豊見城中央病院 豊見城市上田 25 098-850-3811
- 県立南部医療センター・こども医療センター
南風原町新川 118-1 098-888-0123

(一財)沖縄県青年会館

098-864-1780

担当者氏名

090-0000-0000

ふれあい体験プログラム

救急病院・避難場所

M A P



津波避難場所

- ▲1 県営西崎第二団地
- ▲2 スポーツロッジ糸満
- ▲3 県営潮平高層住宅
- ▲4 エンゼルハイム糸満
- ▲5 沖縄水産高等学校
- ▲6 サザンビーチホテル&リゾートオキナワ
- ▲7 糸満市役所

一時避難場所及避難所

- ⑧ 潮平中学校
- ⑨ 糸満小学校
- ⑩ 糸満中学校
- ⑪ 糸満市農村環境改善センター
- ⑫ 糸満市社会福祉センター
- ⑬ 県立糸満少年の家
- ⑭ 兼城小学校
- ⑮ 兼城中学校
- ⑯ 真壁小学校
- ⑰ 三和中学校
- ⑱ 糸満観光農園(広域避難所)
- ⑲ 喜屋武小学校

救急病院

- ♥ 南部病院
糸満市真栄里 870
- ♥ 豊見城中央病院
豊見城市上田 25
- ♥ 南部徳洲会病院
八重瀬町外間 171-1
- ♥ 県立医療センター・こども医療センター
南風原町新川 118-1

フローチャートで見る 受入までの流れ

仮予約から民泊当日までの基本的な流れをフローチャート形式で分かりやすくご紹介します。計画立案から当日までご活用ください。



※その他、詳細は沖縄体験交流事業部(TEL 080-6494-3710)までお問い合わせください。

ふれあい体験プログラム受入利用条件

■対面式・修了式の時間等に関して

●基本：1泊2日（2食）の場合

14時～対面式 翌日9時～修了式とします。但し、スケジュール等の都合でお時間が合わない場合は、ご相談下さい。

●基本：2泊3日（5食）の場合

17時～対面式 翌々日9時～修了式とします。

■受入民家に関して

各受入民家へ3名～6名の割当予定です。尚、受入民家の諸事情により（親族の不慮の事故、病気他）等の理由により、前日又は、当日に受入民家が急遽変更をお願いする場合がございます。ご了承をお願い致します。

■沖縄生活体験・地域案内に関して

各体験は、天候や生徒様の様子（安全面・体力面）を見て事前又は当日に変更する場合がございます。地域案内（※各民家によって異なります）時間に余裕がある場合のみの案内となります。案内の間、個人的な飲食や有料施設を希望された場合は、すべて生徒様の個人負担となります。必ずご説明下さい。

■喫煙、飲酒、無断外出について

発覚した場合、引率者様にご連絡を致します。場合によっては、引率者様に引き取ってもらう場合がございますので、その旨をご指導お伝え願います。

■入浴に関して

ほとんどの沖縄の家庭では湯船は使用せずにシャワーで済ませます。汗をかいたらその都度シャワーを浴びる習慣です。入浴時間も10分～15分程度で済ませようご協力お願い致します。事前にご説明下さい。

■生徒様にご用意して頂くもの

受入民家は、一般民家です。個人で使用される洗面用具、タオル、ドライヤー等必要な物は、各自でご持参下さい。尚、バスタオルは、民家で準備しております。

■お薬に関して

受入民家では、医師の処方箋が無い限り、お薬を一切与える事が出来ませんので常備薬は必ずご持参下さい。尚、日焼け止め、虫よけスプレー、かゆみ止め等も忘れずにお持ち下さい。※受入民家さんは、救急救命講習会等各種講習会を受けて頂いて安全管理には万全を尽くしておりますが全ての体験についてある一定の危険が伴う場合がございますので安全確保の為、各民家さんの指導をよく聞いて行動する様にご説明ください。

■服装に関して

熱中症予防として帽子、汚れても良い服装（長袖、長ズボンやジャージ等）、履物は歩きやすい運動靴等をご用意ください。※男子生徒の下着が見えるズボン下げスタイル、女子生徒の大胆な胸元の空いたスタイルは、当民泊にそぐわない為、事前に御指導お願い致します。

■海水浴に関して

海では、海水に手足をつける程度とします。安全第一の為、海水浴、グラスボート等は全て禁止です。海に行かれる際は、必ず運動靴でお願い致します。（草履、クロックス等は、サンゴ礁で怪我をする恐れがございます。）運動靴が無い場合は、海での自然観察などできない場合がございます。必ずご説明ください。

■引率者の宿泊先、移動手段に関して

当プログラム期間中の移動手段は、タクシー、レンタカー等を貴社にてご手配下さい。またご宿泊先のご手配もお願い致します。民家巡回の場合も同様に貴社にてご手配お願い致します。尚、民家巡回を希望される場合、当方が先導いたします。

■当日の緊急対応に関して

生徒様の体調不良や病気を確認した場合、直ちに事業部より旅行社担当者・引率者へ連絡します。状態によっては、引率者と民家さんへ同行後、宿へお引き取り頂く場合がございます。万一、病院へ搬送となった際は、ご同行お願い致します。緊急時の対応と致しまして、24時間体制で車両、スタッフを配置し緊急連絡体制をとっております。

■その他

事前に当日の緊急連絡体制の打合せをお願い致します。お互いに事故等を防ぐために、必要に応じての情報開示と相談をお願い致します。

■取消料に関して

参加者の都合により、当プログラムを取りやめとなった場合、いかなる事情においても下記の取消手数料を申し受けます。

- 取消料 旅行開始の7日～2日前迄 50%
前日 80%
当日 100%

※上記内容は、平成26年7月現在の内容を記載しております。必要に応じて本内容を随時変更、改定する場合がございます。ご了承下さい。

修学旅行オプションプラン

※民泊とは、別体験となります。民泊の前後でご利用ください。

■ 平和講話

青年会館から発信する『語り継ぐ沖縄戦』

沖縄県青年会館では、沖縄戦を体験し、今は、語り部として活動する県平和祈念資料館友の会の協力のものと、平和学習における「講師」の確保と沖縄県青年会館を活用した「会場」の提供を行っております。戦争体験者の生の声を直接聞くことによって平和の大切さと尊さを実感できるものと思います。団体旅行・修学旅行で是非ご利用ください。

講師紹介

講師 大城 藤六

1930年（昭和5年）沖縄県糸満市生まれ
沖縄戦体験者（昭和20年・15歳）
平成17年～現在 沖縄県平和祈念資料館友の会
講話内容：構築壕建設等、少年兵としての体験

講師 上原 美智子

1935年（昭和10年）沖縄県糸満市生まれ
戦争体験者（昭和20年・小学校3年生）
平成23年現在 沖縄県平和祈念資料館友の会副会長
講話内容：少女が見た沖縄戦

〈その他の講師紹介〉 吉嶺 全一・中村 功・久保田 暁・安田 國重・古謝 厚雄

会場：50名～300名まで収容できる会場を3会場準備しております

ご予約・問合せ 一般財団法人 沖縄県青年会館 TEL 098-864-1780

マリクラブSUN 修学旅行マリクラブ体験プラン

※選べる、マリクラブ体験ビーチ！

糸満市（美々ビーチいとまん） 豊見城市（豊崎美らSUNビーチ）

ベーシックプラン（半日） 定員：20名～160名 **¥5,000**
●バナナボート&体験シュノーケリング（約40分）
●シーカヤック 約10分 ●海水浴（遊泳期間4月～10月）
(消費税別)

ライトプラン（半日） 定員：20名～160名 **¥4,500**
●バナナボート&体験シュノーケリング（約40分）
●海水浴（遊泳期間4月～10月）
(消費税別)

お手軽プラン（半日） 定員：40名～160名 **¥2,500**
●バナナボート（10分） ●シーカヤック（10分）
●海水浴（遊泳期間4月～10月）
(消費税別)

定員以上の場合は、ご相談下さい



ご予約 有限会社
問合せ ジェイ旅行サービス TEL 098-996-4201 住所 沖縄県豊見城市字翁長 658-5
FAX 098-996-4202 HP <http://www.marineclub-sun.com/>



一般財団法人 沖縄県青年会館 概要

| | |
|------|--------------------------------------|
| 施設名称 | 一般財団法人 沖縄県青年会館 |
| 代表者 | 理事長 城間 良和 |
| 所在地 | 沖縄県那覇市久米2丁目15-23 |
| 設立 | 昭和56年2月 財団法人を設立 昭和61年3月 沖縄県青年会館建設 |

■ 一般財団法人 沖縄県青年会館とは

青少年団体の活性化を図る事を目的として建設され、そこを拠点に県内外の青少年団体が宿泊や交流会・講話会・体験学習の会場として多様に活用され、いわば青少年団体の殿堂と言われている。

ふれあい体験プログラム（民泊）は、平成18年2月より受入開始。

一般財団法人沖縄県青年会館・沖縄県青年団協議会の青少年健全育成事業の一環として青年団の地域ネットワークを活用した農村漁村等の地域活性化を主とする、ふれあい体験型交流事業です。

■ 目的

当法人は、沖縄県内の青少年団体の健全なる発展を助長し、青少年活動の促進に関する事業を行い、教育文化の振興に寄与することを目的とする。

事業内容

- 1 沖縄県青年会館を青少年の教育及び宿泊の施設として提供すること。
- 2 ホテル事業
- 3 レストラン、喫茶店の飲食事業
- 4 民家宿泊体験及び修学旅行の受入事業
- 5 地域の伝統芸能等青少年の支援と助成事業
- 6 青少年団体の体育・文化的事業を支援する事
- 7 青少年の健全な育成に関する事業を行う事
- 8 青少年の修養、啓蒙等に関する出版物を発行する事
- 9 青少年団体の状況調査及び研究を行う事
- 10 その他、この法人の目的を達成するための事業

那覇市職員厚生会指定

沖縄県市町村職員互助会指定

公立学校共済組合指定

沖縄県教職員共済会指定

施設紹介



大ホール（50名～300名利用）



小会議室



レストラン（アレグリア）



和室



洋室



大浴場（男女）



大広間

ふれあい体験プログラム アクセスマップ



対面式・修了式 主な会場



糸満市西崎総合体育館



糸満市農村環境改善センター



糸満市社会福祉センター

お問い合わせ

(一財)沖縄県青年会館

〒900-0033 沖縄県那覇市久米2-15-23
TEL 098-864-1780 FAX 098-864-1783

<http://www.okiseikan.or.jp>

沖縄体験交流事業部

TEL 080-6494-3710 FAX 098-864-1783

E-mail: taiken@okiseikan.or.jp